「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

団体名	東みよし町
-----	-------

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021~2023年度 取組内容	自己評価	今後の 課題・対応策など		
	、組織づくり支援等を実施 生さかい寺をもつて生活でき		目標	35箇所 15, 000人	36箇所 16, 000人	37箇所 17, 000人	(2021) コロナにより休止している通いの場もある中で、対策をしつつ運営した。 (2022) 通いの場の数は減少したが、昨年度より休会が増えた。 (2023) 通いの場の数、人数ともに昨年度より増えた。	Δ	目標は達成できていないが、コロナ 禍を乗り越えて活動してきた通いの 場も徐々に活気が戻ってきており、 新規設営にもつながっている。今後 もしっかりとフォローを続けて参加 者の増加や、新規設営につなげていきたい。		
地域住民の活動の立ち上げ支援、組織づくり支援等を実施する。 (いきいき百歳体操)		34箇所 4, 453人 (R3. 12月 末現在)	中生	35箇所 8,344人		34箇所 11, 592人					
生活支援等サービスを提供す るボランティアとなるための 研修等を実施する。	今後は地域の介護の担い手不 足が予想される。前期高齢者 の増加が見込まれるため、地 域の生活支援ニーズと地域の 元気な高齢者の活動をマッチ ングさせる取組を推進してい く。		目標	1回 10人	1回 10人	1回 10人	(2021) 実績なし。 (2022) 実績なし。	×	目標達成できていない。 地域の生活支援ニーズにマッチング した担い手確保のため、今後も養成 に努める。		
		0回 0人	実績	0回 0人	0回 0人	0回 0人	(2023) 実績なし。				
住民主体の自主活動として行 うサービスBを実施する。	自主活動を行っている団体等に介護予防について啓発等を行うことで、介護予防に対する意識を高めて、介護予防につなげていく。		目標	1件	1件	1件	(2021) 実績なし。 (2022) 実績なし。		目標達成できていない。 地域における新たなサービスの担い 手を育成することにより、サービスB		
						つなげていく。	実績	0件	0件	0件	0件 実績なし。

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021~2023年度 取組内容	自己評価	今後の 課題・対応策など
る団体等に対して介護予防に に介護予防についてついての支援を実施する。 行うことで、介護予	自主活動を行っている団体等 に介護予防について啓発等を		目標	5回 100人	5回 100人	100人	(2021) 実績なし。 (2022) 介護予防講演会を実施し、		介護予防の講演会を開催し、啓発等 を行ったが、目標達成できていな
	る意識を高めて、介護予防に	5回 82人	実績	0 0 0	1回 35人	1回	啓発等に努めた。 (2023) 介護予防講演会を実施し、 啓発等に努めた。	_	い。 引き続き介護予防について啓発等に 努める。
認知症の方に対する早期診 断・早期対応のための体制づ くりを実施する。	住み慣れた地域で生活を続けるためには、認知症の高齢者等への専門職の早期の関与等が重要と考えられる。早期診断・早期対応のための体制づくりを構築していく。		目標	1箇所 5回	1箇所 5回	1箇所 5回	(2022) 認知症の者並びにその家族		早期診断・早期対応のための体制づくりを行ってきたが、医療への連携 が課題となる。
		1箇所3回	実績	1箇所 3回	1箇所 3回	1箇所	に対して早期に支援を行 う。 (2023) 体制づくりは行っていた が、検討する事案がなかっ た。		
認知症カフェ等を開催する。	認知症の人やその家族が地域 の人や専門家と気軽に出会え る場がない。相互に情報を共 有しお互いを理解し合う「認 知症カフェ」等の設置を推進 していく。		目標	18回 270人	18回 270人	18回 270人	(2022) コロナの影響により1箇所	٨	コロナの影響により休止していたカフェが再開した。目標には届かな
		5回 49人	実績	10回 106人	10回 106人	145人	は休止し、1箇所での開催となった。 (2023) コロナで休止していたカフェが再開し、2箇所での開催となった。	Δ	かったが、中止することなく活動することができた。今後は2箇所での開催を継続していく。

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021~2023年度 取組内容	自己評価	今後の 課題・対応策など
住み慣れた地域で生活を続けるためには、地域住民等の理解や支援も重要と考えられる。そのためにも認知症サポーターを養成し、地域全体で認知症に対する理解を深め、支えていける地域づくりを行っていく。	るためには、地域住民等の理 解や支援も重要と考えられ		目標	8回 200人	13回 250人	13回 250人	(2021) 養成講座を開催し、認知症 サポーターを養成した。 (2022)		コロナの影響もあるが、目標回数・ 人数を多く設定し過ぎているため達
	4回 78人	実績	4回 104人	4回 70人	26	養成講座を開催し、認知症サポーターを養成した。 (2023) 養成講座を開催し、認知症サポーターを養成した。	Δ	成できていない。継続して、サポー ター養成に努める。	
有効 地域ケア会議を開催する。 ント 化防	他職種で検討することにより 有効な解決手段等を導き、自		目標	2回	2回	2回	(2021) 地域課題を発見して対応を 協議する作業部会と、作業 部会で協議した課題を協議 し町に提言を行う町部局会 を各1回開催する。 (2022) 地域課題を発見して対応を		目標を達成した。 今後も他職種と相互連携及び協力体 制を構築し、地域課題を検討する。
	立支援に資するケアマネジメントの支援を行うことで重度化防止や自立支援につなげていく。	2回	実績	2回	2回	2回	協議する作業部会と、作業部会で協議した課題を協議した行う町部局会を各1回開催する。 (2023) 地域課題を発見して対応を協議する作業部会で協議したと、作業部会で協議した行う町部局会を各1回開催する。	0	

項目	目標設定の考え方 (現状・課題) 202 実績	年度	2021	2022	2023	2021~2023年度 取組内容	自己評価	今後の 課題・対応策など
----	-------------------------------	----	------	------	------	---------------------	------	-----------------